

＜広報委員会及び実行委員会・部会事業報告＞

＜広報委員会＞ 委員長：森本 多志

①「広報ともだ」の発行

- (1)「広報ともだ 第53号」の発行（5月）A4版（全ページカラー）8ページ
○主な記事 平成31年度韮田自治協議会総会の議案等の報告

- (2)「広報ともだ 第54号」の発行（8月）A4版（全ページカラー）4ページ
○主な記事 第10回ほたる祭り、ともだ保育所夕涼み会、
第1回地域福祉学習講座、夏季ふれあい体操会の報告

- (3)「広報ともだ 第55号」の発行（12月）A4版（全ページカラー）4ページ
○主な記事 令和元年度韮田地区敬老会、韮田地区防災訓練、
第2回地域福祉学習講座、手つなぎサロン会、
2019年ウォーキング等の部会活動報告等

- (4)「広報ともだ 第56号」の発行（3月）A4版（全ページカラー）4ページ
○主な記事 避難所開設・運営訓練、先進地視察研修、
親子ふれあい映画会の部会活動報告等

②インターネットの活用

広報誌作成に係る情報収集や地域振興のため必要な情報をインターネットで収集し、各地区に対して情報提供に努めた。

＜民生・福祉部会＞ 部会長：栗原 和義

①手つなぎサロン会の開催

- 11月7日、韮田地区市民センターで韮田地区在住の80歳以上の方を対象に各地区の民生委員・児童委員さんの協力を得て、38名の方に参加いただき「手つなぎサロン会」を開催しました。
- アトラクションとして、伊賀アーティストバンク個人アーティストに登録されている笹野幸生さんの昭和歌謡ギター弾き語りで、皆さんご存じの曲を楽しんでいただきました。
- ともだ保育所園児による歌・ダンスの披露や参加者の皆様に肩たたきのプレゼントをしていただき、和やかに笑顔あふれる時間を過ごしていただきました。

②子育て支援の取り組み

7月6日、ともだ保育所の夕涼み会（お楽しみコーナー）で、保育園児とモグラたたきなどのゲームでのふれあい活動、園児へのプレゼントを支援し、限られた時間ではありましたが園児の皆さんに楽しんでいただきました。

③世代間交流事業の取り組み

12月22日、「あやま文化センター」で、阿山地区住民自治協議会協働事業として「親子ふれあい映画会」を開催し、ユニバーサル・スタジオ映画「ボス・ベイビー」を上映し、多くの親子が共に楽しく映画にふれる機会となった。また、

ホールでは阿山地区の小学校児童に映画を題材としたポスターを事前にお願し、当日会場内に展示した。(参加者 鞆田地区50名)

④高齢者の一人暮らし世帯等の見守り体制の確立

○7月12日、「第1回地域福祉学習講座(参加者34名)」及び10月4日、「第2回地域福祉学習講座～ワークショップ(参加者23名)」を鞆田地区市民センターで開催しました。いずれも伊賀社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターさんの協力により、「みんなで創ろう!いつまでも安心して暮らせるまちあなたも わたしも おたがいさま」等をテーマに、地域でできることについて研修しました。

○2月17日、阿山保健福祉センターで、阿山地区住民自治協議会協働事業による「地域福祉講演会」“住民が主体の地域福祉を目指して”を開催し、同志社大学社会学部 永田祐教授より「地域共生社会の実現に向けて」を受講しました。

＜防災・環境部会＞ 部会長：松本 和久

①「ほたる祭り」の開催

「第10回ほたる祭り」を6月8日、鞆田地区市民センター及び隣接の河川堤で開催しました。市民センター内では、各種の遊びコーナーや中学生による絵本の読み聞かせ、女性部会によるペットボトル風車の制作体験と鞆田在来大豆を使ったおやつの試食会を行った。ほたる祭りの最後は、隣接河川堤に移動し、部会員が用意したほたるを子供たちが放し、参加者全員で乱舞を鑑賞しました。(参加者194名)

②鞆田地区防災訓練の実施

11月17日、鞆田地区市民センターで傷病者が発生した際の適切な応急手当等の習得及び参加者の防災意識の高揚を目的に防災訓練を実施しました。訓練では、市総合危機管理課職員による防災講話及び市消防本部・東消防署・阿山分署員の指導により普通救命講習(応急手当)を受講いただきました。(参加者59名)

③避難所運営マニュアルの策定

1月19日、旧鞆田小学校の体育館・グラウンドで、危機管理の一環として大規模地震を想定した「避難所開設・運営訓練」を実施し68名が参加しました。この訓練では地震による大災害を想定した避難訓練に始まり、体育館では避難所として被災者を受け入れるための避難所開設準備訓練、そして被災者を受け入れなどの避難所運営訓練などを行いました。昨年に引き続き実践的な炊き出し訓練を行うため、「味付け鞆田在来大豆」入りアルファ米と豚汁を調理し参加者に試食いただきました。

④環境保全活動の推進

環境美化意識の高揚と環境美化対策を図るため、阿山地区住民自治協議会協働事業として各地区による花の植栽や11月には地域ぐるみによるごみ収集の支援を行い、鞆田地域が目指すクリーンなまちづくりを推進しました。

＜教育・文化部会＞ 部会長：松村 憲一

①人権啓発活動の推進

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が今も解消しないことを重く受け止め、役員、部会員が阿山人権同和教育研究協議会主催の阿山人権同和教育研究大会・視察研修会（８月８日、奈良県御所市の水平社歴史館、奈良市の旧大乘院庭園）及びあやま人権フェスティバル、あやま人権・同和問題学習講座に参加し、人権意識の高揚を図りました。

②健康ウォーキングの開催

１１月２日、地域の健康づくりの一環として阿山地域体育協会主催、靱田自治協議会・河合地域住民自治協議会協賛の２０１９年ウォーキングが、世界遺産、熊野古道の伊勢路、松本峠道を会場として開催され４２名が参加しました。靱田地区からは、１７名の参加があり、熊野古道の松本峠道の４.１kmを約２時間かけて歩きました。

③忍にん体操の普及

７月２８日、旧靱田小学校グラウンドで住民の健康推進を図るため、阿山地域体育協会主催の夏季ふれあい体操会が開催され、靱田地域の子供から高齢者の方まで多くの参加がありました。忍にん体操では、忍にん体操普及会と阿山地域体育推進員により体操指導いただきました。

④スポーツ振興支援

靱田地域の住民に対して市及び阿山地域体育協会などの団体が主催する大会への参加を呼びかけ、スポーツによる健康づくり、体力づくりを推進した。

＜産業振興部会＞ 部会長：川瀬 弘次

①耕作放棄地の解消の取組み

- １．耕作放棄地の解消の取り組みと景観形成を目的に、中友田地内の農地所有者から約９aの耕作放棄地を借用し、菜種栽培を計画しました。
- ２．菜種栽培は本年も大山田農林業公社の協力により、種子の確保と栽培手順等の指導を頂き、１０月中旬に耕耘し種をまき、除草剤を散布し、その後も生育管理に努めました。
- ３．前年に種まきをした菜種が４月に入りきれいな花が咲き、地域住民への観賞のため『ライトアップ』に取り組みました。

②有害鳥獣対策の推進

○５月１５日、三重県伊賀庁舎で伊賀市鳥獣害対策協議会総会に出席し、研修講演では、三重県農業研究所から「獣害対策」について講話があり研修しました。また、２月２５日、三重県伊賀庁舎で伊賀市鳥獣害対策協議会臨時総会に出席し、研修講演では、兵庫県立大学教授から「鳥獣被害防止の取組み」について講話があり研修しました。

○各地区に対して追払いを目的とした動物駆逐用煙火を配布しました。

③ 韮田在来大豆の種の保存等の取組み

1. 韮田在来大豆の種の保存のため、上友田地内の農地所有者から約13aの休耕田を借用し大豆の栽培を計画しました。
2. 5月中旬～7月中旬 栽培用地を耕転し、土づくりと肥料散布を行った。
3. 7月中旬 種まき作業と除草剤散布を行う。
4. 8月中旬～9月中旬 大豆栽培地保全管理、草刈りと草焼きの実施。
5. 10月中旬～11月初旬 大豆栽培地保全管理、草刈りと草焼きの実施。
6. 11月初旬 大豆を刈り取り後、一定期間乾燥させた。(刈取時期が遅れ鹿の被害を受けました。)
7. 令和2年1月中旬 乾燥させた大豆を農協へ持ち込み脱穀した。
(収穫量 25kg)

<女性部会> 部会長：川瀬 康江

① 多世代交流活動の推進

○「しめ縄づくり体験」の開催

12月1日、しめ縄の作り方を講師2名の方に依頼し多くの方に参加いただきました。(参加者：大人18人・子ども10人)

○阿山小学校支援ボランティアとして、15回に亘り参加し、5・6年生の家庭科ミシンや1年生の昔遊びの授業において支援を行いました。

② 地元特産品等の開発

○地元特産品を商品化している甲賀もち工房や島ヶ原やぶっちゃんランドへ視察し、特産品開発の情報収集を行いました。

○産業振興部会が収穫した「韮田在来大豆」を使用したお菓子を作り、ほたる祭りにて「もちっと大豆」として参加者に配布しました。

○けんずいまつり2019に参加し、「韮田在来大豆入り白玉団子の豚ずい鍋」の調理・配膳を協力しました。

○避難所開設・運営訓練での炊き出し訓練でアルファ米に「味付け韮田在来大豆」をいれ、参加者に試食していただきました。

③ 支援活動、協働活動の推進

「かざぐるま」(韮田地区高齢者対象のサロン会)を社会福祉協議会と連携し、高齢者転倒予防教室や唱歌の合唱、レクリエーションなどを年3回開催しました。

第1回目 10月25日 韮田地区市民センター(参加者33名)

第2回目 10月29日 下友田多目的集会施設(参加者24名)

第3回目 11月19日 西湯舟生活改善センター(参加者23名)